

令和7年度 熊本市立寺井小学校 学校評価計画

| 評価項目 (観点) | 具体的方法 | 主体 | 評価指標 | ＜評価の根拠＞ 達成度判断基準 | 教職員アンケート | 児童アンケート | 保護者アンケート | 取組状況 | 評価 | 今後の改善点と具体的な方法 |
|------------------------|--|------|---|--|--|---|---|------|----|---------------|
| 1 組織力の向上 | ①【継続した検証・改善】 主任等を中心とした各組織が目標に基づき、児童の状況やニーズを継続的に検証・改善する。 | 教頭 | ・学力向上・生徒指導・健康安全の各チームや学年が主体となって「児童と取り組み目標を共有し、取り組み後に児童アンケート等でその取組を行い、それをもとに改善を考えた。」に当てはまる回答の割合 ・「避妊訓練、遠足などの行事で、めあてを先生と確認し、ふり返りをした」に当てはまる回答の児童の割合 | ＜実施状況・アンケートの状況＞ A: +評価90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | 児童と取り組み目標を共有し、取り組み後に児童アンケートを行い、それをもとに改善を考えた（実施した）。 | 避妊訓練、遠足などの行事で、めあてを先生と確認し、ふり返りをした。 | | | | |
| | ②【いじめ、不登校等の未然防止】 日常の情報共有・報告・連絡・相談を徹底し、いじめや不登校等の課題に迅速かつ適切に対応する。 | 教頭 | ・「気になった事はすぐに、学年主任・生徒指導主任・管理職等に報告・連絡・相談し、対応した。」に当てはまる回答の割合 ・「学校はお子さんの連絡や取り返りに対して、迅速に対応している。」に当てはまる回答の保護者の割合 | ＜実施状況・アンケートの状況＞ A: +評価90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | ・「気になった事は、学年主任・生徒指導主任・管理職等に報告・連絡・相談し、迅速に対応した。」 | 学校はお子さんの連絡や取り返りに対して、迅速に対応している。 | | | | |
| | ③【組織的指導力の向上・働き方改革の推進】 DX化や平準化を進め、学年会やチーム会を通して組織的指導力の向上と働き方改革を推進する。 | 教頭 | ・「複数で分担できる業務はなるべく分担して行い、業務の平準化を図った。」と答える教師の割合 ・「デジタル技術を活用して業務の効率化を図った。」と答える教師の割合 | ＜実施状況・アンケートの状況＞ A: +評価90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | ・複数で分担できる業務はなるべく分担して行い、業務の平準化を図った。 ・デジタル技術を活用して業務の効率化を図った。 | | | | | |
| 2 知（確かな学力の育成） | ①【活用力・表現力を育成する授業】 つきたい力を児童の姿として具体化させ、児童が探究サイクルを回し、知識・技能を活用し、表現する力を育成する授業を行う。 | 研究主任 | ・単元におけるゴールの姿を児童と共有し、つきたい力を活用して表現する場面を設定することができた回答の割合 ・「学んだことを生かして、自分の考えを表現することができた」と答える児童の割合 | （教・児アンケート） A: 90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | （低） 学んだことを使って問題を解くことができた。 （中高） 学んだことを生かして、自分の考えを表現することができた。 | | | | | |
| | ②【個に応じた学びと協働的な学びの一体的な充実】 デジタル学習基盤を効果的に活用し、児童一人ひとりのニーズに応じた学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。 | 研究主任 | ・ICTを活用し、学習の進捗状況をモニタリングや個々の学びをより深める他者参照の工夫を行うことができた回答の割合 ・「互いに教え合ったり、話し合ったりすることで、自分の学びを更新することができた」と答える児童の割合 | （教・児アンケート） A: 80%～ B: 70%～ C: 60%～ D: 60%未満 | ICTを活用し、学習の進捗状況をモニタリングや他者参照の工夫を行っている。 | （低） 自分の考えをよりよくするために、友達と教え合ったり、話し合ったりすることができた。 （中高） 互いに教え合ったり、話し合ったりすることで、自分の学びを更新することができた。 | | | | |
| | ③【意図的・計画的な学力向上の取組】 学力ロードマップを軸に、6年間を見通した意図的・計画的な学力向上の取組を推進する。 | 主幹 | ・単元末テストの「思考・判断・表現力」を平均80点以上を達成した児童の割合 ・学期末の漢字・計算テストでそれぞれ90点以上を達成した児童の割合 | （教育的データ） A: 90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | ・学年会・校務委員会等でロードマップを確認しながら、意図的・計画的に学力向上の取組を推進した。 | ・単元末テストの「思考・判断・表現力」を平均80点以上を達成した児童の割合 ・学期末の漢字・計算テストでそれぞれ90点以上を達成した児童の割合 | 家庭学習チャレンジ週間に、お子さんが自分のめあてを達成することができたと答える保護者の割合 | | | |
| 3 徳（多様性の尊重と温かな集団作り） | ①【生徒指導の4つの視点を生かした教育活動】 生徒指導の4つの視点を生かした教育活動に取り組み、児童が安心して学校生活を送れるよう、組織的かつ継続的な指導を行う。 | 生徒指導 | ・チェックシートで自己存在感（褒める・認める）の項目で肯定的評価がつく教師の割合 ・「児童を認める声かけを行なっている。」に当てはまる回答の教師の割合 ・「月の初めや最後に、てらいっ子の足跡の活動を通して学級の成長や良さを認めている。」に当てはまる回答の担任教師の割合 ・「学校が楽しい」に当てはまる回答の児童の割合 | ＜教・児・保アンケート＞ +評価 A: 90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | ・児童を褒める認める言葉を意識して行っている。 ・（担任）月の初めや最後に、てらいっ子の足跡の活動を通して学級の成長や良さを認めている。 | 児童生活は楽しい。 | お子さんは学校生活を楽しくしている。 | | | |
| | ②【温かい集団づくり】 児童が主体的に挨拶や温かい言葉を交わす場面を大切に、相互理解と尊重に基づく温かい集団作りを支援する。 | 生徒指導 | ・「教師自身が進んであいさつを行い児童のお手本を心がけている。」、「お互いにめあてを自分と活動・言葉かけを行い、親和的な集団づくりを支援している。」に当てはまる回答の教師の割合 ・「まわりの人と気持ちが良いあいさつをしている。」、「誰に頼んでも、温かい言葉をかけることができた」に当てはまる回答の児童の割合 | ＜教・児アンケート＞ +評価 A: 90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | 教師自身が進んであいさつを行い児童のお手本を心がけている。 ・お互いにめあてを自分と活動・言葉をかけることを目的とした活動（パワーレシーブ等）、言葉かけを行い、親和的な集団づくりを支援している。 | ・まわりの人と気持ちが良いあいさつをしている。 ・誰に頼んでも、温かい言葉をかけることができた。 | | | | |
| 4 体（健康で自律的生活習慣の確立） | ①【知識や技能を身につける取組】 自分の生活を整え、安全な生活を営むための知識や技能を身につける取組を行う。 | 保健主事 | ・「児童が安全に気をつけて、学校生活を送るよう指導している。」に当てはまる回答の教師の割合 ・「安全に気をつけて学校生活を送っている。」に当てはまる回答の児童の割合 ・「学校は、校内外の安全指導に努め、事故防止に配慮している。」に当てはまる回答の保護者の割合。 | （教・児・保アンケート） +評価 A: ~85% B: ~75% C: ~65% D: 65%未満 | 児童が安全に気をつけて学校生活を送れるよう指導している。 | 安全に気をつけて、学校生活を送っている。 | 学校は、校内外の安全指導に努め、事故防止に配慮している。 | | | |
| | ②【思考力や工夫する力の育成推進】 運動の楽しさや喜びを味わい、思考力や工夫する力を育成する体育科の授業や体育的行事を推進する。 | 保健主事 | ・「運動の楽しさや喜びを味わい、思考力や工夫する力を育成できるような体育科の授業を行っている。」に当てはまる回答の教師の割合 ・「体育科の授業が楽しい」に当てはまる回答の児童の割合 | （教・児アンケート） +評価 A: ~85% B: ~75% C: ~65% D: 65%未満 | 運動の楽しさや喜びを味わい、思考力や工夫する力を育成する体育科の授業を行っている。 | 体育科の授業は楽しい。 | | | | |
| 5 家庭・地域との連携 | ①【PTAや学校運営協議会との連携】 PTAや学校運営協議会と連携を深め、地域人材や資源を活用した体験活動の充実を図る。 | 教頭 | ・「PTAや学校運営協議会等と連携し、学習サポートや地域の方の力を借りて、体験的な学習活動を進めることができる。」に当てはまる回答の教師の割合 ・「朝の読み聞かせや生活の学習などで、地域の先生から色々な学びに当てる児童の割合 | ＜教・児アンケート＞ +評価 A: 90%～ B: 80%～ C: 70%～ D: 70%未満 | ・PTTAや学校運営協議会等と連携し、学習サポートや地域の先生から色々な学びに当てる児童の割合 | ・朝の読み聞かせや生活・総合の学習などで、地域の先生から色々な学びに当てる児童の割合 | | | | |
| | ②【開かれた学校づくり】 学校教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信し、信頼される学校づくりを進める。 | 教頭 | ・「学校は学校だよりやホームページで、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている。」に当てはまる回答の教師、保護者の割合 | ＜保・教アンケート＞ +評価 A: 85%～ B: 75%～ C: 65%～ D: 65%未満 | 学校は学校だよりやホームページで、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている。 | 学校は学校だよりやホームページで、学校のことを積極的に家庭や地域に伝えている。 | | | | |